

地域の

公共施設の 未来を考える ワークショップ



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

【第5回】幸区

令和 6年 11 月 24日(日)

14:00~17:00



記録作成のため、スタッフが写真撮影をします。
NGの方はお近くのスタッフまでお知らせください。

本日の進め方

14:00 川崎市からの説明

14:10 第3回・第4回の振り返りと本日の進め方の説明

14:20 第一部 第3回・第4回の成果の共有（60分）

～他のエリアの成果を共有し、感想を出し合おう～

15:20 - 休憩 - （20分） 本日の成果を掲示しておきますので、ご自由にご覧ください。

15:40 第二部 トークセッション（50分）

～トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返ろう～

16:30 今後の予定・アンケート記入

17:00 閉会



1

川崎市からの説明

1 川崎市からの説明①

オープンハウス型説明会の結果報告

1 川崎市からの説明①

■オープンハウス型説明会 令和6年10月19日（土）

「幸区民祭」にて、この取組のパネル展示や
チラシ配布を行い、広く市民の皆さまに周知しました。
また、公共施設の使い方についてシール投票を行いました。



【パネル展示の様子】



【シール投票の様子】

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

【現地で展示したパネル】

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

公共施設の未来を考える取組について

シール投票で缶バッジをもらおう！

クイズに答えてお菓子をもらおう！

川崎市

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

川崎市の公共施設を取り巻く現状と課題

市の公共施設の老朽化が進みます

- 市の公共施設は約 1,100 あり、10 年後には約 76% が築 30 年以上に達することから、施設機能の低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う課題が懸念されています。
- また建設費は水山の一角で、その後に維持管理費や事業運営費など、約 9 倍の費用が必要となる状況です。

築 30 年以上が約 76%

10 年後の公共施設

B の使用の合計は A の 9 倍！

① 建設費
② 光熱費
③ 維持管理費
④ 修繕改修費
⑤ 解体費
⑥ 事業運営費

人口減少への転換が見込まれます

- 市の人口は令和 12 (2030) 年頃における約 160.5 万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定される状況です。
- 人口減少に伴い、1 人あたり m^2 数 (公共施設の床面積 ÷ 人口) が増加し、公共施設を維持するための市民 1 人あたりの費用負担も増大が見込まれる状況です。

川崎市の将来人口推計

ピーク

令和 12 (2030) 年 160.5 万人

減少見込

令和 42 (2080) 年 148.7 万人

令和 2 (2020) 年 153.6 万人

以上を踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは非常に困難です

市民負担を要えずに、市民サービスの質の維持・向上を図るためには、当面の人口増加に対応しつつ、公共施設の床面積を増やさない取組を行うことが必要です

資産マネジメントの取組を進めます

- 将来世代の負担が重くならないよう、公共施設の保有財産を適切に管理することが必要です。
- 資産マネジメント第3期実施方針を策定し、「機能重視」の考え方に基づく取組と、資産保有の最適化を重点的に推進します。
- これまで重点的に取り組んでいた施設の長寿命化については、資産保有の最適化を踏まえた上で取組を推進します。

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

基本的考え方及び取組

みんなでもっとうまく施設を使えないかな？

従来の考え方

特定の目的別、対象者別に施設を整備

子どもが利用する施設

高齢者が利用する施設

「機能重視」の考え方

施設が持つ機能（提供するサービス）に着目し、市民ニーズ等を把握した上で施設を整備

誰でも利用できる機能

昼間も夜間も

子どもや高齢者が利用できる機能

多世代で運動できる機能

多世代でくつろげる機能

利用状況や将来の利用想定等を踏まえ機能のあり方の整理を行い、施設の複合化や多目的化等の手法（※）を用いることにより、施設の適正配置を図るものであり、主に次の取組を検討します。

- 地域の利用状況を踏まえた資産保有の最適化検討
公共施設、人口動態、地域課題などの地域ごとの状況を踏まえた施設の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。
- 機能ごとの資産保有の最適化検討
ホール施設の適正配置や学校プールの最適運用など、同一機能を有している様々な施設機能の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。

（※）施設の複合化、多目的化のイメージ

複合化

施設の建て替えなどの際に、異なる機能を一緒にします

複合化施設

子どもだけ

高齢者だけ

複合化施設

みんなが利用できる

良い点

- 管理費の削減
- 施設稼働の改善
- 利用者間の交流促進など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

多目的化

利用しない時間帯や未稼働のスペースを有効に使用します

昼間だけ利用

夜間も夜間も利用

良い点

- 多様な市民ニーズへの対応
- 施設の利用率の向上など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

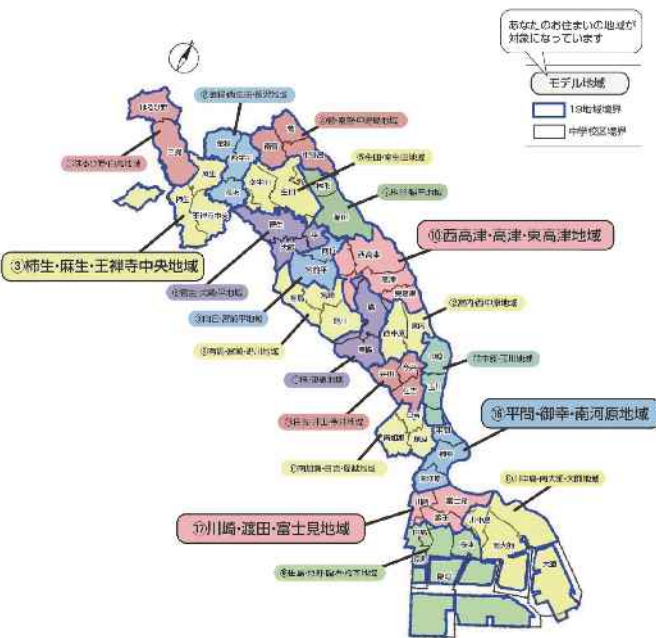
【現地で展示したパネル】



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

4つのモデル地域を選定して検討

地形、鉄道路線・バス路線の状況、町内会・自治会のエリア等も踏まえ、一旦、2～4程度の中学校区単位を基本とし、「地域」の仮設定（19地域）を行いました。19地域の中から、地域の施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、モデル地域4地域の選定を行い、令和5年度から検討を開始しています。



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

市民の皆様と一緒に、身近な地域の将来像や、将来に向けて公共施設に必要な機能を検討するワークショップを開催しています。

第1回

公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」をやってみよう！

令和5年11月～12月開催

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」は、施設の老朽化や人口減少を迎える未来で、公共施設をどのように活用していくか、楽しく遊びながら理解を深められる川崎市オリジナルのボードゲームです。

各グループのキャッチフレーズの例

- IT化が進み元気なシニアが活躍するまち
- 多世代がゆるくつながるまち
- スポーツでむきもGCTみんな楽しく元気なカワタン
- AI（あい）・AI（エ・アイ）で生活学習のまち



第2回

魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう！

令和6年2月～3月開催

20年後の川崎市に生活する人物（仕事、家族構成、何歳、趣味や日常の行動）をイメージしたカードを選び、その人物の状況（日常の過ごし方、困り事など）を考えました。その人たちがいきいきと暮らしている地域の将来像を出し合い、魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えました。

各グループのまとめの例

- 集中して勉強・仕事ができるスペースがまちにあることを目指そう
- 駅前駅は賑やかなくてよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるように
- 既存施設をより活用するために、PR強化、企業との連携、多目的などが大切
- 様々な世代が一緒に過ごせる、生涯学習の場や交流の場のようなものがあるといい



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

第3・4回

エリアの将来像を考え、公共施設にあつたらいいなと思う機能やニーズを考えよう！

令和6年7月～10月開催

エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考え、さらにその将来像を実現するために、公共施設にあつたらいいなと思う機能やニーズについて意見交換しました。第3回目と第4回目は、対象エリアを変えて同じ内容で行いました。

意見の例

- 利用率高い施設にカフェなどを入れて、交流に立ち寄れるように
- 子供向け施設と老人向け施設を一緒にして多世代交流を
- 仕事帰りでも利用できるよう、夜も開いているといい
- もっと親しみやすいオープニングに



参加者からの声（アンケート結果より）

- 色々な世代の方の意見を聞けてとても参考になった
- 施設の老朽化は避けて通れないから、しっかり考えて魅力的なまちにしていきたい
- 地域の公共施設のことを知る良いきっかけになった
- エリアや公共施設についての資料がわかりやすかった

実施内容は川崎市HPに公開しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000157369.html>



1 川崎市からの説明①

「公共施設がどうなったら使いやすくなるか」について、シール投票を行ったところ、約500名の方に投票いただき、特に小中学生やお子さま連れのご家族の皆様から投票いただきました。

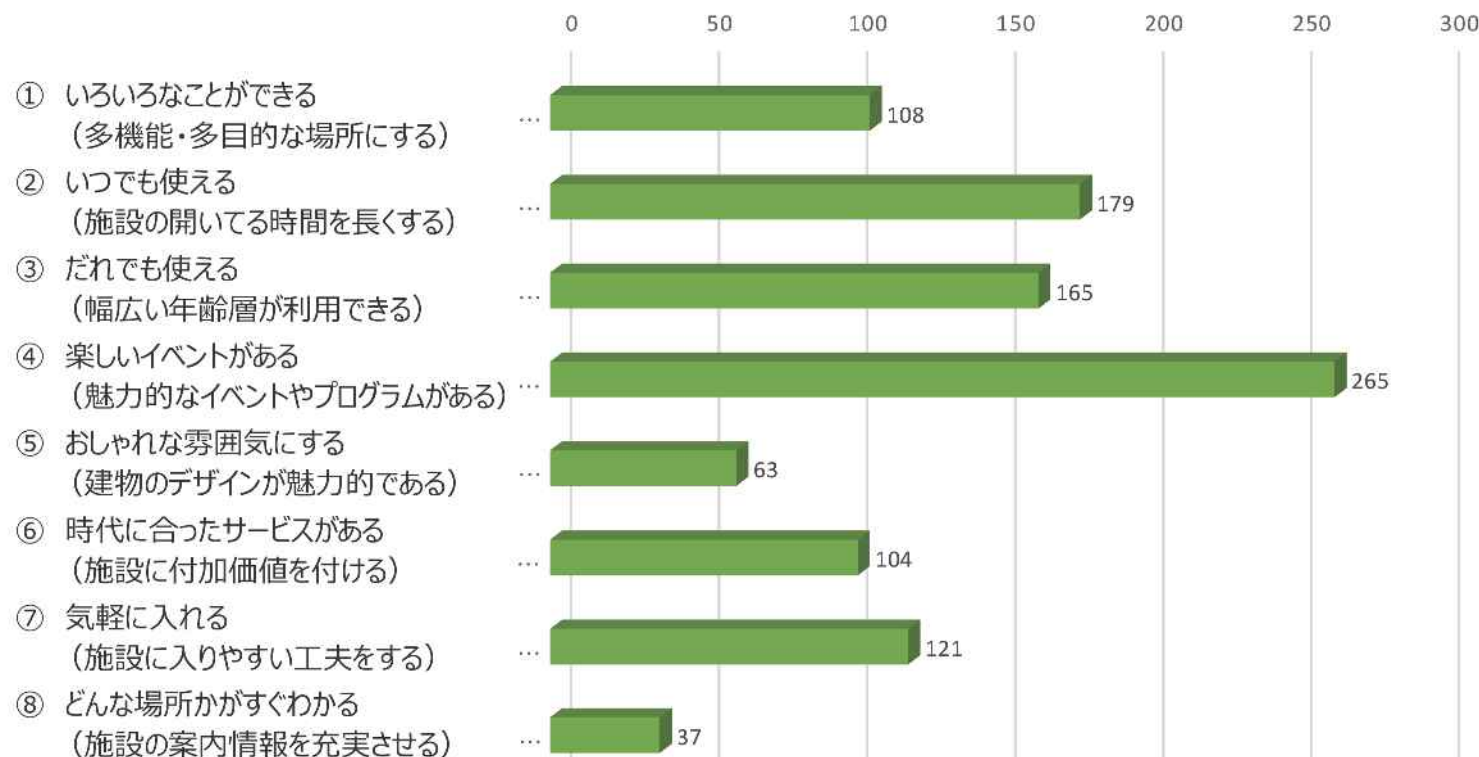
(シール投票していただいた方にはカワタン缶バッジをプレゼントしました)

【カワタン缶バッジ】



【幸区民祭シール投票結果】

公共施設がどうなったら使いやすくなるか



N=1,042

【シール投票パネル】

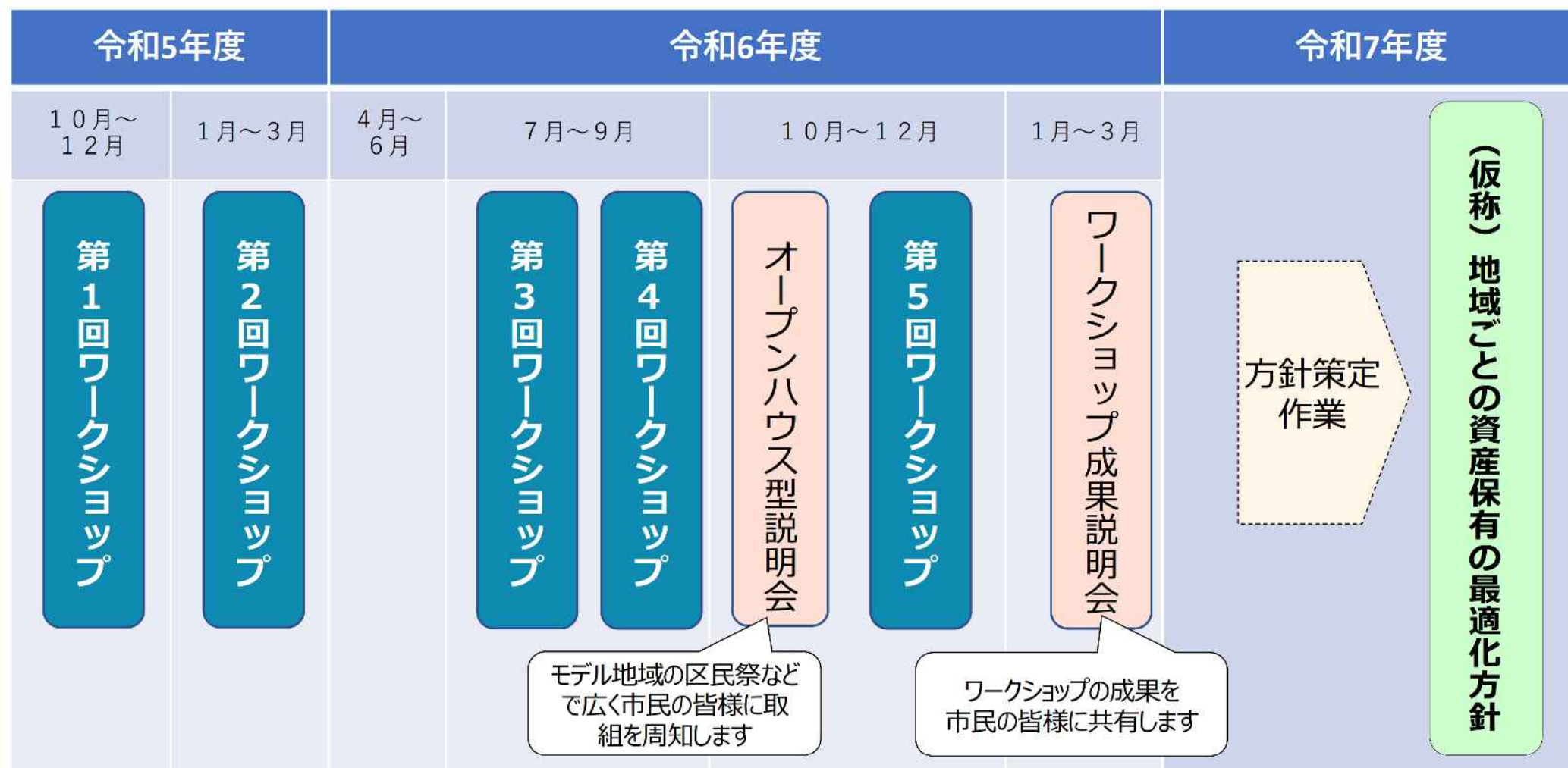


1 川崎市からの説明②

ワークショップについて

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



ワークショップについて - スケジュール -

令和5年度

第1回

カワタン
体験会

第2回

モデル
地域の
将来像・
施設の
使い方を
考える

令和6年度

第3回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討①

第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等を考える

第4回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討②

前回に引き続き、具体的な施設を基に考える
※班ごとに第3回とは別の施設を考える

第5回

第3回・第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り

班ごとに行っていた検討成果を全体に共有し、トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返る

2

本日の進め方

本日の進め方

第一部

60分

第3回・第4回の**成果を共有し、感想**を出し合おう

参加していないエリアの意見交換で出された意見を確認しよう

意見についての**感想**を出し合おう

地域の子育て
ママさんには
とても必要なの
でぜひ実現を！

〇〇に加えて
こんな機能も
あると良い

グループを移動し、別の
エリアの意見について**感想**を出し合おう



休憩

第二部

50分

トークセッションを通じて
ワークショップ全体を**振り返ろう**

これまでのご参加に感謝し、感謝状
を贈呈

参加者・ファシリテーターによる
トークセッション

これまでの**ワークショップ**を通じた
気づきなどについて、全体で感想を
出し合おう

写真撮影



アンケート記入など
今後の予定について

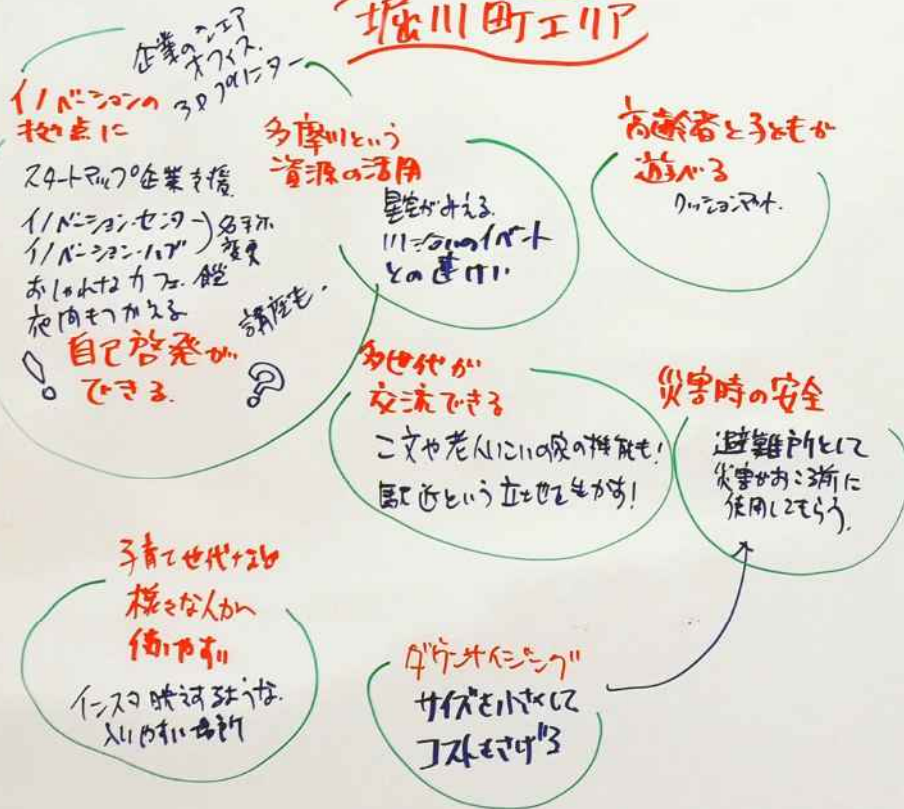
グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (堀川町エリア、古市場エリア)

地域の公共施設の未来を考える WS ③ 幸区					
2024. 08.04(日)					
堀川町エリア					
古市場エリア					
エリアの将来像	1	2	3	4	5
	図書館と教育施設 勤労者の為の学びの場 を充実させて 多世代が交流・融合 するまち	気軽に使いやすい 多世代が交流できる 仕組、しかけ等がある	川沿いエリアを 住んで楽しい 働いて楽しい 歩いて楽しいエリアに!!	世代を超えたコミュニティ の充実により まち住環境が改善し 魅力が増えていくまち	のんびりと永く 暮らすまち お孫と暮らす お父お母の
こんなまちに なるとい 主なアイデア	高齢者と子どもが 集まる一帯にある 明るく、キレイで、安全な 1Fになり、安心して お散歩や水遊びが できる 勤労者のための 託児所、成長できる 場	多世代が交流できる 仕組がある。しかけがある 気軽につかいやすい施設 おとなが集まりはって できるエリアがある 住み続けられる 仕組がある	馬と川を「ながい」 イノベーションに 多摩川をもっと生かした まちづくりを! 小学校が遠いので 便利なお店ほしい	空き地を利用して 子どもがボール遊び、壁遊び 多世代で世代を超えて コミュニケーションできる 移動販売車の誘致、 手作り作品のマーケット 誰でもわかりやすく公共 サービスを受けられる	永く暮らすまち 歩いて暮らすやすいまち 孫と住める 道路が広い 商店街におしゃれな 店がある 図書館を使いやすい

各グループで出された論点メモ (堀川町エリア、古市場エリア)

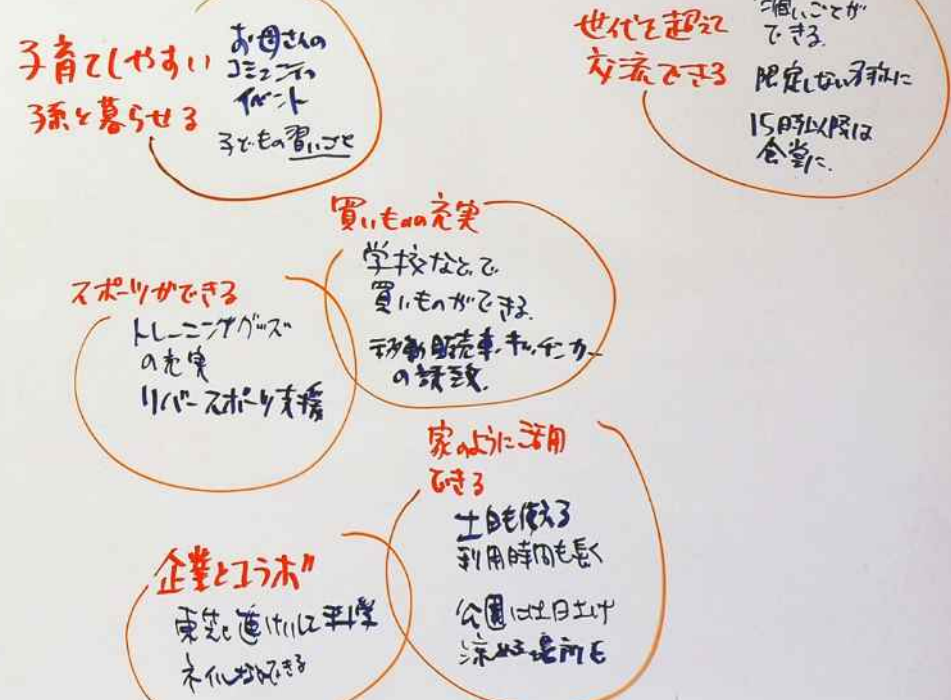
地域の公共施設の未来を考える WS

堀川町エリア



各グループで出された論点メモ

古市場エリア



グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (御幸エリア、南河原エリア)

地域の公共施設の未来を考える WS 4

幸区

2024年
9月16日

御幸エリア 幸区センター/幸区児童センター

エリアの将来像

起る施設にふたつ(1)と(2)の機能は二重

① 多世代で交流できる
エリア内で楽しむまち

スポーツセンター → とくは施設が充実しているのでPRを
(食の場もある) (体育館でフリスビー)

図書館 → 使われていない空間

・その施設以外の使われ方
でき、使うことで知ってもらう

・移動でいってみたいもの、いらないものも

福祉ビル
をいかに移設しては?
(駐車場スペースがある)

② 身で歩いていけるまち

商業施設や娯楽施設、
交流の場などのサービスがある

スポーツ → 屋外プールかあったらいい
→ 小学校の体育館で活用できる
あじあやの飲食店

小・中学校の体育館 → 活用できる
高齢者のための施設

診療所 → 平日夜間も活用

・(生活に備えた)備品があるように

南河原エリア 南河原老人にいの家

エリアの将来像

③ 南河原の特色を大切に
朝から夜まで気軽に使える
場が沢山あり、人々が集まることができる
まちに作り、皆が長く住める街

金銭の発生 → 車での出立場を

・老人 → 名前がわかる → 21時まで使える

・予約なしで、何時でも見える

・立地がよさ → 場所が見え

・建替 → 100坪以上
→ 100坪以上 → 100坪以上
(くさぬい、入る)

・団体の集まりにも利用できる

④ 多世代と多様な文化の人々
交流できる

資産保有の最適化 = ファシリテーター
生活の拠点
生活の拠点施設を設ける

・(施設) 17時? → 21時まで
60才以上の施設
はいる → 世代間交流
ここは集まる
建替

17

各グループで出された論点メモ
(御幸エリア、南河原エリア)



3

第一部

第3回・第4回の成果を共有し、
感想を出し合おう(60分)

00:00

休憩 (20分)

00:00



4

第二部

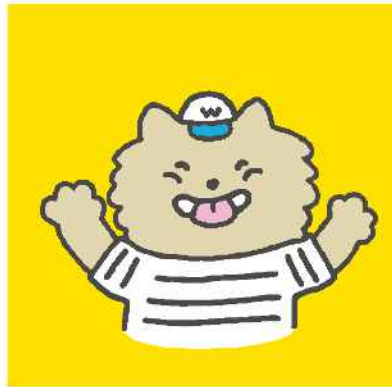
トークセッションを通じて

ワークショップ全体を振り返ろう（50分）

感謝状の贈呈

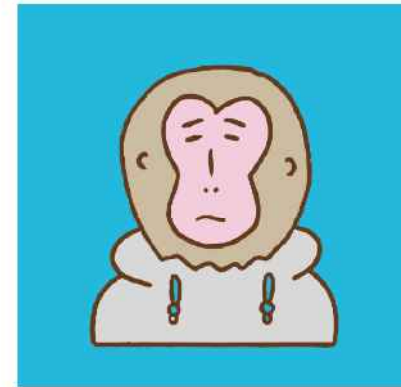
トークセッション

今の感想



ポメ太

頑張った自分を
ほめたい！



モンキ

まだまだ意見を
出し合いたい

ワークショップ 1 回目～本日

これまで
の感想

トーク1

公共施設を

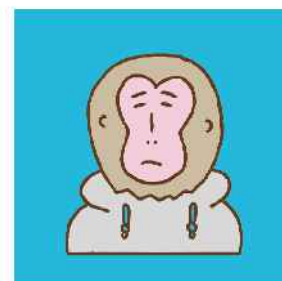
取り巻く現状を踏まえ

気づいたこと・

感じたこと

高齢化を 身の周りで 感じることが ありますか？

モンキ



感じる

ポメ太



そうでもない

公共施設が

老朽化^ゃあまり
活用されていない

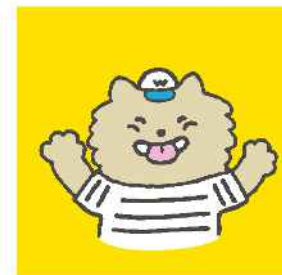
と感^じることが
あります^か？

モンキ



感^じる

ポメ太



そ^うで^もな^い

トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

ワークショップの 参加前・参加後で 公共施設や地域に対する 見方が変化 しましたか？

ポメ太



変化した

モンキ



そうでもない

トーク 2

公共施設の
今後を考える中で、
気づいたこと・
感じたこと

トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

これまでのワークショップの中で
公共施設の使い方について
印象に残った
アイデアは何ですか？

第1部の成果をみて
使い方・ニーズなど
印象に残ったもの
共感したもの
はありますか？

公共施設の可能性・
ポテンシャルを
どのように／どのあたりに
感じましたか？

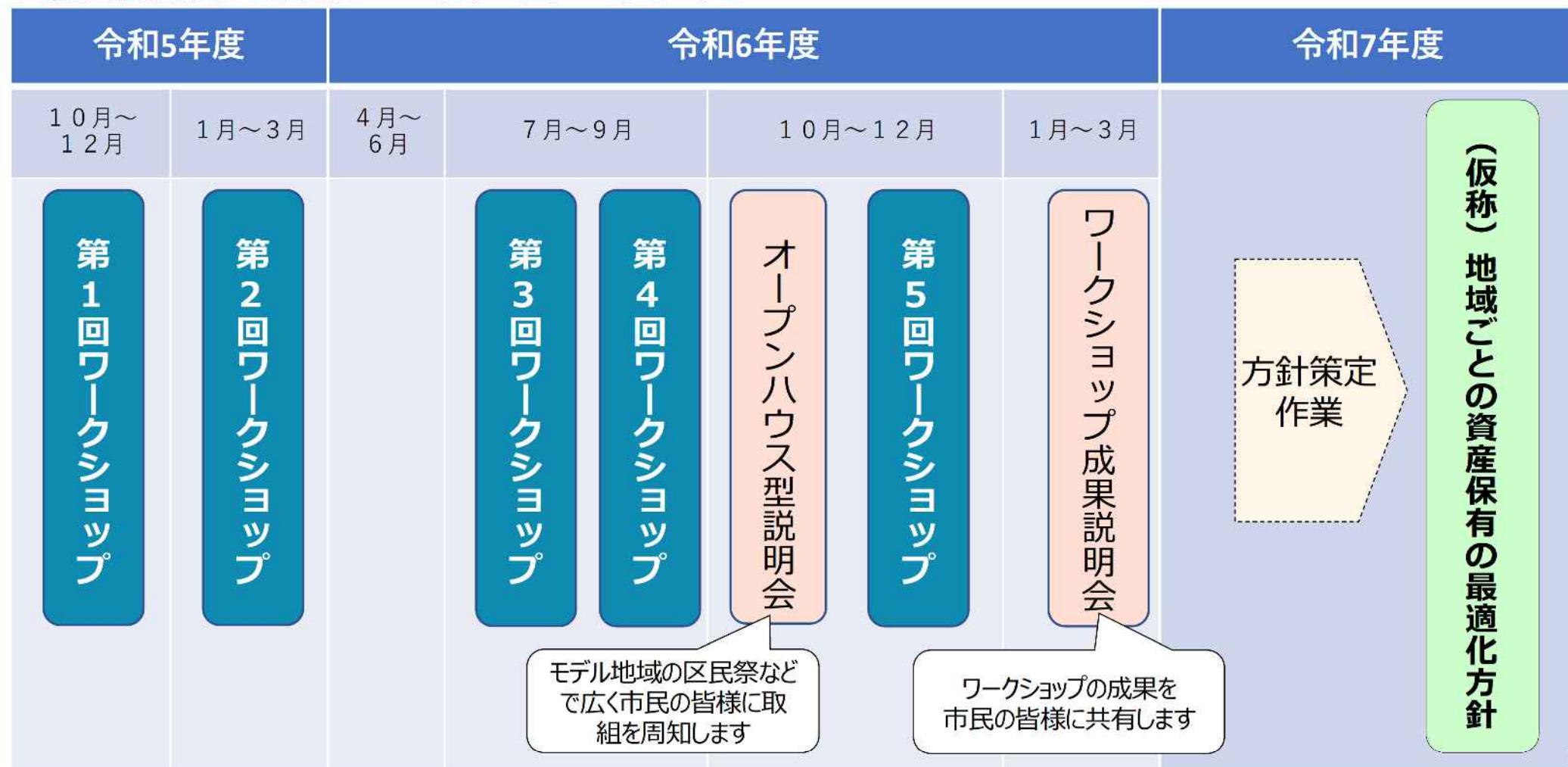
記念撮影

5

今後の予定・アンケート記入

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



今後の予定

■ワークショップ成果説明会 令和7年2月～3月頃予定

このワークショップの成果を広く市民の皆さまに周知します。
詳細な日時・場所が決まりましたらお知らせします。



ありがとうございました！

アンケートにご回答いただき、謝礼のお渡しとなります。